

今こそ…ガス



1 にかほ市ガス事業の原料の移りかわり

都市ガス事業が始まったころは、自前のガス井戸等で産出する天然ガスが原料でした。しかし都市ガスの需要の高まりと産出していた天然ガスの減少のため原料調達に苦慮していたところに、由利原に良質で豊富な天然ガスが産出され、その供給を受けて安定した都市ガス供給が可能となりました。

都市ガスの原料には液化天然ガス(LNG)と国産天然ガスの天然ガス系原料と、プロパンガスなどの石油系原料があります。日本では石油危機以降、石油系原料から天然ガス等への転

換を促進したことから、現在では都市ガスの原料構成の9割以上が天然ガス系になっています。

そのような中、日道工事により由利原から原料の供給を受けていたパイプラインの移設が必要となりました。しかし、その建設には多額の費用がかかることまた高力ローリー化への対応も喫緊の課題であったことから、各旧町ガス水道事業所では新たな原料調達の協議を進めてきたのです。

このような流れのもと、にかほ市では原料を由利原からの天然ガスからLNGへと転換することにしたのです。

天然ガスは世界各地に豊富に存在します。埋蔵量が多いのは中東地域やロシア、環太平洋諸国などです。日本の都市ガス事業者の購入先は主に環太平洋諸国、インドネシア、マレーシアなどでしたが、最近では輸入先を多元化し長期契約に基づいてLNGを輸入し、安定的確保に努めています。しかし世界的な原油価格

の高騰や温暖化対策、また中国などの新興国の需要の高まりにより、LNG獲得競争が激しくなってきました。日本でも震災以降火力発電所の稼働率が上がり、燃料となるLNGの需要が高くなってきました。

2 マレーシア産のLNG

熱量変更事業を終えたにかほ市では、都市ガスの原料を石油資源開発(株)からマレーシア産のLNGを購入しています。輸送にも経費

がかかります。しかし天然ガスはマイナス162度まで冷却すると液体になります。液体になると体積が気体のときの600分の1になります。この特性を利用して一度に多くの量のLNGをタンカーで輸送できるのです。マレーシアからこのようにして輸送されたLNGは新潟で陸揚げされます。新潟からにかほ市まではタンクローリーで運ばれます。みなさんも大きなタンクに赤い字で「LNG」と書かれたタンクローリーを目にしたことがありますか。それが、今夜の夕食を作るお手伝いをしていく都市ガスの原料です。

新潟からLNGが運ばれるのは夏場は週2〜3回、冬場の需要が多い時期では週5〜8回にもなります。ガス水道局では安全にLNGを受け入れるために、研修を受けた職員が受入作業に従事しています。

◆市臨時職員を募集します◆

対象 にかほ市民

※①は緊急雇用創出臨時対策基金事業により雇用されたことのある方は、県・市町村の別や直接雇用・委託を問わず通算1年を超えて雇用されません。

応募 ①〜③から1つ

条件 ①〜③共通)▽雇用期間：12月1日〜3月31日▽勤務時間：午前8時30分〜午後5時15分

①〜②共通)▽勤務日数：月20日程度▽社会保険有▽賃金①5、750円/日②8、240円/日③7、200円/日

②のみ)※2▽大型特殊自動車免許及び車両

募集番号・職種 募集人数 応募資格 勤務地

① 一般事務補助 (緊急雇用) 1名 △パソコン操作ができること (エクセル、ワード) (象潟庁舎(総務課))

② 作業員 (道路等維持管理作業※主に除雪) 1名 ※2 (市内各所(建設課))

③ 施設管理人 1名 △草刈機操作ができること (フェライト子ども科学館)

●問合せ 総務部総務課人事管理班 ☎43・3200

●面接は各担当課。面接日を後日連絡

●申込期限 11日(金)午後5時

●採用方法 書類審査と面接

●申込先 総務部総務課人事管理班 (象潟庁舎)、仁賀保・金浦市民SC

●申込方法 各庁舎の申込先に備え付けの指定用紙(写真を貼付)に必要な事項を記入し持参(郵送不可)

●系建設機械運転技能講習修了書をお持ちの方

●③のみ)▽勤務日数：週3日程度/月▽社会保険無

お知らせ

戸籍窓口から



市役所では閉庁時でも戸籍の届出を受領しています。

主な例

- ・婚姻届を休日だが○月○日に出したい。
- ・土曜日に親族が亡くなり、火葬許可証が欲しい。
- ・平日仕事が休めないで土日に出生届を出したい。

上記のような場合でも受理することができます。しかし、休日もしくは時間外では届書をお預かりするのみです。お預かりした日を受理日といたしますが不備があった場合等は、再度お越しいただくこともありますので、必ず日中連絡の取れる電話番号を届書に記入してください。休日もしくは時間外に届出を予定されている方はあらかじめ市民課へお問い合わせ下さるようお願いいたします。

なお、時間外での受領は仁賀保庁舎の夜間ポストのみとなっています。さらには、死亡届の場合、夜間ポストに投函されても、埋火葬許可証が発行出来ませんので、再度時間内に来庁頂く事になります。

【休日の届出の場合】

区分	内容
日時	土曜日・日曜日・祝日及び年末年始の 8:30~17:15まで
受付業務	・各種戸籍届出の受領 ・埋火葬許可申請の受付及び許可証の交付 ・斎場の使用許可申請の受付及び許可証の交付
場所	仁賀保・金浦・象潟の各庁舎日直室

問合せ先 仁賀保庁舎 ☎37-3111
金浦庁舎 ☎38-2300
象潟庁舎 ☎43-3200

【平日・休日の時間外(夜間)の場合】

区分	内容
日時	平日・土曜日・日曜日・祝日及び年末年始の 17:15~翌朝8:30まで
受付業務	・各種戸籍届出の受領 (埋火葬許可証・斎場使用許可証交付不可)
場所	仁賀保庁舎のみ(日直室前 夜間ポスト)

問合せ先 市民課 ☎32-3035
(平日時間内のみ)